

シックハウス シンポジウム

テーマ

[建築基準法改正後、
国民合意可能な新たなスキームの確立を目指して]

in Osaka IV

〈プログラム〉

・ 基調講演

「シックハウス解決の核となる安全な
建材DBの普及の必要性」

「建築学、医学の綿密な連携による
研究の重要性に関して」

・ 各界挨拶

「シックハウス対策に期待する」

・ 活動報告

・ パネルディスカッション

「国民合意可能なシックハウス
問題のゴールを考える」



日 時 : 平成17年10月10日(月・祝)
開会 午前9時45分(開場午前9時10分)
閉会 午後4時00分

場 所 : グランキューブ大阪(大阪国際会議場)
10F会議室 1001~1003

定 員 : 300名

参加費 : 2500円(資料・昼食代含む)

■ 周辺アクセス

- JR「大阪駅」駅前バスターミナルから、大阪市営バス(53系統 船津橋行)または(幹55系統 鶴町四行)で約15分「堂島大橋」バス停下車すぐ
- JR大阪環状線「福島駅」から徒歩約10分
- JR東西線「新福島駅」(2番出口)から徒歩約10分
- 阪神電鉄「福島駅」から徒歩約10分
- 大阪市営地下鉄「阿波座駅」(中央線1号出口・千日前線9号出口)から徒歩約10分
- シャトルバスが「リーガロイヤルホテル」と各ターミナル(JR「大阪駅」中央北口、地下鉄・京阪「淀屋橋駅」西詰)の間で運行されており、ご利用いただけます。

主催 : (特定)シックハウスを考える会

後援 : 国土交通省、経済産業省、文部科学省(予定)、林野庁、大阪府、日本医師会、大阪府医師会、大阪弁護士会、独立行政法人国民生活センター、中央労働災害防止協会大阪労働衛生総合センター、(社)日本建築士会連合会、(社)日本建築家協会、(社)日本建材・住宅設備産業協会、(社)住宅生産団体連合会、(社)日本建材・住宅設備産業協会、NHK大阪放送局、朝日新聞社、読売新聞大阪本社、毎日新聞大阪本社、日本経済新聞社、日経アーキテクチュア、日本住宅新聞社、新建新聞社、日刊木材新聞社、生活協同組合コープこうべ、協同組合関西西の会、関西ツーバイフォー建築協会、(財)ビル管理教育センター(予定) <順不同>

協賛 : 土佐産商(株)、東亜コルク(株)、(株)トピックス、コープ住宅(株)、(株)ダイヤ分析センター、壁紙製品規格協議会、(株)トミタ、高松建設(株)、クリエイション マスダ、キングラン・ハウネスト(株)、樹脂サッシ普及促進委員会、鎌田塗装(株)、(株)健康住宅 <順不同>

当シンポジウムは独立行政法人 環境再生保全機構地球環境基金の助成事業です。

お問い合わせは



TEL 0743-79-9103 FAX 0743-79-9153
Eメール milk@sickhouse-sa.com
ホームページ http://www.sickhouse-sa.com/

「シックハウスシンポジウム in Osaka IV」 〈プログラム〉

開会	9:45	開会の辞 シックハウスを考える会 理事長 上原裕之 挨拶 シックハウスを考える会 副理事長 菟島宗夫	
基調講演	10:00	「シックハウス解決の核となる安全な建材DBの普及の必要性」 白瀬哲夫氏 (シックハウスを考える会 運営委員長) (休憩10分)	50分
各界挨拶	11:50	「建築学、医学の綿密な連携による研究の重要性に関して」 坂本雄三氏 (東京大学大学院建築学教授) 「シックハウス対策に期待する」 大塚明廣氏 (日本医師会 環境保健委員) 富田育男氏 (社団法人 日本建材・住宅設備産業協会専務理事)	50分 各10分
昼休憩	12:20	昼食<協賛企業の展示と相談コーナーの併設>	(1時間10分)
活動報告	13:30	「シックハウスを考える会の活動報告」 シックハウスを考える会副理事長 桔梗谷 正	
パネルディスカッション	14:00	「国民合意可能なシックハウス問題のゴールを考える」 パネラー 大塚明廣氏 (前掲) 石坂 聡氏 (国土交通省建築指導課 課長補佐) 田村厚雄氏 (経済産業省 製造産業局住宅産業窯業建材課 課長補佐) 関根幹雄氏 (大阪弁護士会 副会長) 司会 上原裕之 (シックハウスを考える会理事長) (14:50-15:00休憩を挟む)	110分
開会	15:50	挨拶 シックハウスを考える会理事 萩原 健 <総合司会 シックハウスを考える会理事 影山 満>	

「シックハウスシンポジウム in Osaka IV」参加申込書		申込枚数	枚
申込先: FAX.0743-79-9153 シックハウスを考える会			
ふりがな			
お名前 (個人名又は企業名)	シックハウスを考える会の (会員・非会員) (※いずれかに○印を付けて下さい)		
ご連絡先 (勤務先・自宅)	□□□-□□□□		
どちらかに○印	(ご担当部署	お名前)
	TEL:	FAX:	
	E-mail:		
[事務局記入欄]	※申込受付 月 日	※確認印	※予約No. ~

〈申込方法〉

- ・ 受付は先着順とさせていただきます
- ・ 本状左記必要事項記入の上、FAXにて申し込み願います
- ・ 事務局で確認させていただきますら、予約NO.を付けて返信Faxさせていただきます
<数字等記入はハッキリと!!>

〈入場方法〉

- ・ シンポジウム当日、受付へ、返信されたFax或いは、予約番号をご提示の上、参加費を各自お支払い下さい。

注意) 当日のご参加も受け付けますが、昼食のご用意は出来ませんので、ご了承下さい。(ご予約いただいた方には、昼食が付きます)